

2027 年度 総合型選抜（11 月募集）【探究評価型】

理工学部 応用化学コース

1. プレゼンテーション課題

あなたがこれまでに行ってきた探究学習の活動を 1 つ取り上げて、探究学習報告書を作成し、プレゼンテーションを行ってください。その活動が中学校や高等学校などの正課活動として実施されたか、または、課外活動でされたかは不問とし、学校の外で個人的・自主的に行ったり、参加したりした活動を取りあげても構いません。

2. 作成要領および実施要領

【探究学習報告書 作成要領】

探究学習報告書は以下のとおり作成してください。

- (1) 記述は手書き・文書作成ソフトのいずれでも構いません。全体を A 4 用紙の片面 1 ～ 2 ページ以内にまとめてください。

探究学習報告書の書式は[こちら](#)からダウンロードしてください(docx 形式)

- (2) 文書作成ソフトを使用する場合、文字の大きさや行間幅は指定書式から変更しないでください。
- (3) 図表や画像などの視覚資料を用いても構いません。審査員が判別できる大きさにしてください。
- (4) 文献や資料を参照した場合は、記述内容との関係がわかるように出典を明記してください。匿名の SNS 投稿など根拠の不明瞭なものへの言及は控えてください。

（参考）探究のテーマについて

探究のテーマは、身近な疑問からで構いません。専門的で大がかりな研究である必要はありません。たとえば、次のようなテーマが考えられます（あくまで例です）。

- ・ 身近な洗剤・石けんで汚れ落ちはどう変わるか
- ・ 使い捨てカイロや冷却パックが温かく／冷たくなる仕組み
- ・ 重曹とベーキングパウダーでお菓子の膨らみはどう変わるか
- ・ 地域の川や水道水の水質を調べる／食品ロスを減らす保存・包装の工夫

化学・理系に限らず、地域・社会・文化など関心のあるテーマでも構いません。大切なのは、課題に主体的に取り組んだプロセスと、そこから得た学びを自分の言葉で語れることです。

【出願時に提出するもの】

出願時に必要な書類と共に、「探究学習報告書」を1部提出してください。

【試験当日に持参するもの】

- 探究学習報告書（出願時と同一内容のもの）1部。手書きの場合はコピーでも可。
- プレゼンテーション資料のデータを保存した USB メモリ。資料は探究学習で作成済みのものでも構いません。提出形式は PowerPoint (.pptx) または PDF としてください。USB には発表に使用するファイルのみを保存し、ファイル名は 「KGU2027 探究」 としてください。
- 読み上げ用の原稿が必要な場合は持参して構いません（A 4 用紙の片面に印刷）。
- 発表方法に応じて、ポスター（模造紙〈B 1 判〉まで・2 枚以内）・配布資料・作品・写真などを持参して構いません（配布資料を用いる場合は審査員用に 2 部）。

発表方法は、PC（スライド）／ポスター（模造紙〈B 1 判・約 788×1091mm〉まで、2 枚以内）／配布資料／口頭のみ、から選んで構いません。スライドの作成は必須ではありません。ポスターや配布資料は、手書き・パソコン作成のどちらでも構いません（審査員が判別できる大きさ・濃さで作成してください）。自分が説明しやすい方法を選んでください。

プレゼンテーション用の PC およびプロジェクターは大学で用意します（インターネット接続環境はありません）。PC の OS は Windows11、ソフトは最新版の Microsoft Office が使用可能です。ポスターで発表する場合は、掲示用のホワイトボードとマグネットを大学で用意します。

【プレゼンテーション・口頭試問、面接 実施要領】

- (1) プレゼンテーションの時間は 5～10 分以内です。発表後、口頭試問と面接を計 15 分程度行います。
- (2) 持ち込めるのは、探究学習報告書、プレゼンテーション資料（USB に保存したデータ、またはポスター・配布資料・作品・写真等）、読み上げ用原稿のみです。その他の電子機器（PC・タブレット・スマートフォン等）は持ち込めません。
- (3) 審査員は、出願時に提出された探究学習報告書を見ながら審査を行います。

3. 評価の視点

プレゼンテーション・口頭試問および面接の結果、探究学習報告書、調査書・事前課題（エントリーシート）、それぞれの評価を総合して判定します。また、探究学習の評価にあたっては、以下の視点を重視します。

- (1) なぜその課題に問題意識を持ったのか。（課題発見力）
- (2) 個人またはグループで、どのように探究を進めたか。取り組み方や工夫、うまくいかな

かったことへの対処を評価します。(主体性・協働性／探究のプロセス)

- (3) 探究学習を行うにあたって参考にした書籍・論文・データ等が量的・質的に妥当といえるか。(情報収集力、分析力)
- (4) データや実験、化学的・客観的な根拠にもとづいて考察できているか。(理工的な思考力)
- (5) 探究を通じて得た学び・気づきを、本学での学びや将来にどうつなげるか。(自己分析力・継続性)
- (6) (1)～(5)の点について、具体的・客観的な根拠に基づいて、分かりやすく説明できているか。(表現力)

以上